秋田魁新報　2026年10月18日付　秋田市

生徒商品開発、笑顔で接客

秋田市 秋商・アキショップにぎわう

秋田市の秋田商業高校の生徒が県内企業と開発した商品を販売する「AKISHOP（アキショップ）」が17日、JR秋田駅前や秋田市民市場などで開かれた。工夫を凝らした菓子や弁当が並び、会場は買い求める人たちでにぎわった。

◇　◇

2、3年生約370人が参加。グループに分かれてハンバーガーやおにぎり、プリンなど約40種類の商品を販売した。生徒はチラシを来場者に渡したり、「いかがですか」と声をかけたりして接客していた。

生徒たちは4月から、協力企業を探して交渉し、商品開発や広報に取り組むなど準備を重ねてきた。冷凍コロッケの開発に関わった2年の伊藤舞亜（まあ）さん(17)は、「思い描いた通りに進まないこともあったが、実際にお客さんに会って買ってもらうことで達成感を感じたし、うれしかった」と話した。

会場では生徒が企画した射的やボウリングなどのゲームコーナーも設けられ、生徒のガイドで秋田市内を巡るバスツアーも実施した。

射的などのゲームに挑戦した小野房子さん(81)＝秋田市＝は「高校生が頑張る姿に感激した。優しく話しかけてくれてゲームも楽しむことができたし、元気をもらえた」と話した。

アキショップは、商品開発や接客を通じてビジネススキルを養ってもらおうと2002年度から開催しており、今回で25回目。

この日は、高校生が社長役、小学生が社員役となり就業体験をする「キッズビジネスタウン」も秋田商高を会場に開かれた。（水品千夏）



生徒がコーヒーを入れ、提供したグループもあった



県内企業とともに開発した弁当などが並んだ



企業と開発した商品を販売する生徒

ⓒ秋田魁新報社